

クラスのがひとつに！

文化新聞

6月号⑩

【発行・編集】
委員長 本道睦穂
副委員長 梨本あかり



一年四組と一年五組のクラス企画をインタビュ形式で取材しました。インタビュに答えてくれた方、撮影を快く承諾してくれたクラスの皆さん、準備中でお忙しいところ、ご協力いただきありがとうございます。

一年四組

一年四組はトイストーリーをした。この企画では、的あて、ボーリングをし、そこでゲットしたスコアを競う。
この企画をすることになったのは、テーマである、アメリカカンといえ、デイズニーというイメージがあり、その中でトイストーリーに決定したからだ。
企画を準備する段階では、意見を一致させることが大変だったようだ。楽しかったことでは、色塗りをしたり、段ボールを切ることが楽しかったようだ。
一年五組は「入学してから数か月で、間もなく、まだクラスに慣れていないけれど協力して作ったのでぜひ体験してポイントを競ってください！」とした。



一年五組

一年五組では、デイズニーのシユガーラッシュを企画した。この企画では、一年五組の教室でミニゲームが行える。
この企画は、クラス企画のテーマがアメリカカンということで、デイズニーランドをイメージした企画をしたということになったため、主に、クラスの女子の希望で、シユガーラッシュをすることになった。
自分とみんなの想像しているものの違いがあり、みんなの意見が一致しないことに悩みながら、みんなの意見に合わせたり、互いの意見を尊重することでも乗り越えたようだ。一年五組の生徒の一人は、その理由を自分一人の企画じゃないからだと話した。
企画に参加してくれるお客さんに「自分たちはおもしろいと思っ作ったけれどおもしろいと思うかどうかはお客さんによつてちがうから、おもしろかったらおもしろかった、おもしろくなかったらおもしろくなかったと作った人のことはいいから思ってください。それを来年につなげたいかな」と思っています。」とした。

編集後記

一年四組と一年五組取材して、どちらもデイズニーの世界観をクオリティ高く再現していると思いました。アメリカカンのイメージがデイズニーの人が結構いたのは驚きで、どちらの企画もとても面白そうでした。そして、どちらのクラスも意見が一致しないことで壁にぶつかっていたけれど、それを乗り越えてクラス企画を完成させたのはすごいと思いました。私も、意見が合わないときは意見を尊重しようと思います。